



2025年

3月

中国四国農政局
愛媛県拠点

地域資源バショウ・リボーン！

～持続可能な未来をつくる高校生の挑戦～

「バショウ」という植物をご存じでしょうか。愛媛県南西部の温暖な地域に自生するバナナの仲間であるバショウ科の植物で、南予地方ではお盆の棚飾りに使用されています。しかし、習慣の変化による利用減少やお盆を過ぎた後の大量廃棄が課題となっています。

県立大洲農業高等学校生産科学科（大洲市）では、このバショウの活用法を考えるプロジェクトを立ち上げ、今年で4年目を迎えます。



バショウ

プロジェクトでは、バショウに含まれるミネラル成分のカリウムに着目し、県内企業と連携して食品循環資源を活用した有機質ペレットを開発しました。地元農家で試験栽培を実施した結果、化成肥料の使用量低減の成果が得られました。また、愛媛大学と連携して「芭蕉和紙」を使用した果実袋を開発し、プラスチックを削減する環境にやさしい農業用資材の開発にも取り組みました。



お盆の棚飾りに使用されるバショウ

同校では今年度、「農業のゼロエミッションシステムを構築する」と狙いを定め、①有機肥料の開発②有機農業の普及③資源循環型農業の構築の3つのチャレンジに力を入れています。

有機肥料の開発では、県内企業と連携して肥料の開発を行い、現在、バショウを利用した新しい地域資源の肥料について登録、製品化を目標に取り組んでいます。

有機農業の普及では、地元のさといもやぶどうの生産者に協力を依頼し、肥料の効果の検証や収穫した農産物の販売を行い、環境にやさしい農業の普及活動に取り組みました。



学校農場でのバショウの栽培



みどりの食料システムの実践プロジェクト発表会
での発表の様子

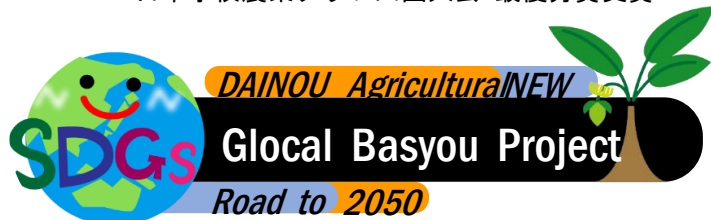
他方で、プロジェクトの中ではバショウの認知拡大を目的とした普及活動も積極的に行っています。

令和6年1月に愛媛県拠点が開催した「農業高校生によるみどりの食料システムの実践プロジェクト発表会」に参加し、取組内容の発表を行いました。

また、令和6年2月には県内で特に優れた環境保全活動を行う個人または団体を表彰する「第20回三浦保環境賞」において、県知事賞を受賞しました。そのほかにも地元メディアからの取材を受けるなど、県内で注目を浴びています。



日本学校農業クラブ四国大会 最優秀賞受賞！



大洲農業高等学校ホームページ：
<https://ohzu-ah.esnet.ed.jp/>

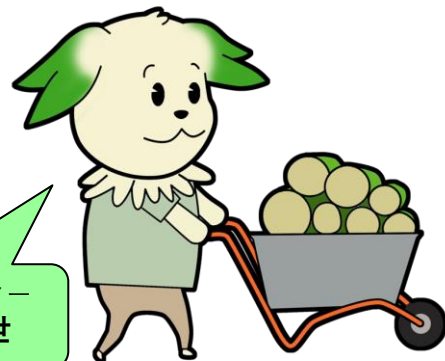
資源循環型農業の構築では、植えたバショウが二酸化炭素を吸収し、収穫後、肥料として製品化することで、吸収した二酸化炭素を土壤中へ還元する「大農ゼロエミッションシステム」が完成しました。今後、実践技術の普及を行うとともに、来年度は休耕田を活用したバショウの生産拡大が計画されており、更なる地域資源としての利用に期待が高まります。



第20回三浦保環境賞 県知事賞受賞！

今年度は、「農業高校の甲子園」と呼ばれる日本学校農業クラブ四国大会の国土保全・環境創造部門で最優秀賞に輝き、岩手県で開催された全国大会に出場しました。バショウのプロジェクトでは3年連続で全国大会に出場しており、その取組は年々パワーアップしています。

プロジェクトを担当している同校の福見先生は、「生徒たちの活動を通してバショウについてたくさんの人に知ってもらうとともに、バショウを活用した環境保全や有機農業の普及に取り組みたい」と今後について熱く語っていました。



イメージキャラクター
バシヨシヨ3世

(画像提供：県立大洲農業高等学校)

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177(代)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>

農林水産省